

孫太郎虫 見つけた！

斎川小児童が生き物調査

11月9日、斎川小学校3・4年生14人が斎川鹿ノ子沼ため池周辺で生き物調査を行いました。白石市土地改良区では、農業用水や農地の管理という本来の役割に加えて、「21世紀創造運動」として自然環境との調和や農業に触れる体験の場を提供するなど、さまざまな活動を展開しています。この日は、普段、農業用水として使用しているため池などにどのような生き物が住んでいるかを調査。現在はあまり見かけなくなった「孫太郎虫」を発見するなど、身近な場所での新しい発見に児童たちは大興奮！ 古里の宝を知る、貴重な体験となりました。



▲一生懸命に生き物を探す児童たち（写真左下は孫太郎虫）

音楽の楽しさをみんなに伝えたい

市内小学校で音楽アウトリーチ授業

11月13日と15日、映画やCM音楽なども手掛けるインストゥルメンタル・アコースティック・デュオ「ジュスカ・グランパール」の2人が市内4つの小学校を訪れ、「音楽アウトリーチ」を開催しました。この催しは、芸術を身近に感じられる地域づくりに寄与したいと、(財)白石市文化体育振興財団とみやぎ県民文化創造の祭典実行委員会が主催。児童たちは、ギターとバイオリンから流れる、情熱的で美しいメロディーを堪能し、最後は、2人の演奏に合わせて「ふるさと」を歌うなど、音楽を身近に感じる、貴重な経験となりました。



▲授業の最後に笑顔で記念撮影（11月13日、大平小学校）

地域を知り、地域を愛し誇りに思う心

深谷小みどりの少年団の発表が全国育樹祭で最高賞

11月10日、深谷小学校みどりの少年団の阿部りりかさん(6年)と森屋拓巳くん(6年)が、静岡県袋井市で開催された第36回全国育樹祭「全国緑の少年団活動発表大会」に参加し、最高賞となる「みどりの奨励賞」を受賞しました。2人は「地域を知り、地域を愛し誇りに思う」と題し、東日本大震災で被害を受けた花壇の再生に向けて、和歌山県のボランティアと交流したことや、逆さケヤキを題材にオペレッタを上演したことなど同小の活動を紹介。2人は「発表は緊張したけどちゃんとできて良かったです」と喜びを話していました。



▲11月22日、風間市長と武田教育長に受賞を報告する同団の皆さん

子どもと大人の接点の場を

第9回寿山自治会館まつり

11月24日・25日の両日、「第9回寿山自治会館まつり」が寿山自治会館で開催されました。会場では、「寿山自治会友の会」の皆さんや自治会の子どもたちが制作した絵画を展示したり、地域の人たちが一緒になって竹トンボなどの竹細工を作ったりしました。お昼には、友の会の皆さんが腕をふるった豚汁などを食べながら交流。高橋丈夫自治会長は「東日本大震災の時には、会館を6日間避難所にして、物資を持ち寄るなど助け合いました。これからも子どもと大人の接点の場を作り、互いの顔が見える活動を続けていきます」と話していました。



▲宮大工であった跡部清寿さんが作った「弓鉄砲」で遊ぶ子どもたち

元気で行こう白石から！

第38回あしたば白石まつり



▲500人を超える方々が来場。写真は弥登孝会の皆さんによる長唄

11月18日、あしたば白石で活動するサークルや講座受講生の皆さんが一年の学習の成果を発表する「あしたば白石まつり」が開催されました。38回目を迎えた今年のまつりは、「出会い ふれあい みんなの輪～元気で行こう白石から～」をテーマに開催。写真や絵画、ツールペイントなど自慢の作品展示のほか、舞台ではギターやダンス、コーラス、民謡など17団体が日ごろの練習の成果を披露しました。あしたば白石のサークルや講座を通して出会い、ふれあい、輪を広げていった皆さんからは、大きな元気を感じることができました。

多くの人を訪れるきっかけの場所に

沢端川周辺環境美化整備工事完了お披露目式



▲関係者が見守る中、コイにえさを与える園児たち

11月22日、沢端川周辺の環境美化整備工事が完了し、そのお披露目式が桜橋で行われました。白石市観光協会が、アサヒビール(株)の社会貢献プロジェクト補助金などを活用したこの工事。沢端川周辺にキリシマツツジやアジサイ、松などの植栽、桜の支柱設置などを行いました。式には、「沢端川の環境を守り鯉を育てる会」の皆さんや西保育園の園児など約40人が出席。同社の大西恒市仙台支社長は、「多くの人たちが訪れるきっかけの場所になる。今日が完成ではなく、自然維持活動の気持ちと行動を続けていただければ」と話しました。

まちをきれいに 心もきれいに

第22回白石市スポーツ少年団奉仕活動



▲厳しい寒さの中でも、笑顔で公園をきれいにしました

12月2日、「第22回スポーツ少年団奉仕活動」が白石川緑地公園で行われました。この活動は、環境美化に取り組むことで公共心と郷土愛を育て、子どもたちの健全育成を図ることを目的に、毎年開催されています。今年も、野球やサッカー、空手、剣道、柔道、ソフトテニス、バレーボールなど19団体から団員や保護者、指導者など約390人が参加。参加者は朝8時から約1時間、たばこの吸い殻や空き缶を拾うなど公園内の清掃作業を行いました。子どもたちは、「いつも使っている公園がきれいになるのはうれしい」と笑顔で話していました。

あきらちゃん&ラーメンちゃんと一緒に

クリスマス子育てふれあいコンサート



▲ステージで「白石うーめん体操」を踊る参加者

12月2日、「あきらちゃん&ラーメンちゃん～クリスマス子育てふれあいコンサート」を中央公民館で開催しました。この日は約250人の親子が会場に詰め掛け、クリスマスにちなみ遊び歌やダンスなどを行い、子どもも大人も笑顔いっぱい時間を過ごしました。コンサートの終盤には、市内幼稚園・保育園の先生たちも作詞や振り付けなどの制作に参加した「白石うーめん体操」をみんなで元気にダンス！ 手作りの井を準備して踊る子どもたちを見つけると、「この曲が白石で根付いてくれるのがとてもうれしい」と2人は話していました。